経営方針「三者協働で　資質・能力の育成を目指す　創意工夫ある教育活動」

ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ（「学校・家庭・地域が　愛情持って　汗を流して　アイデア生かして　子供のために取り組む学校」）

を展開するための基本的な考え方

１（児童理解）　「児童理解に基づいた教育活動の創造」

（１）学習規律を職員全員が共通理解し，一致したぶれない指導を心がける

→関連「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた学習環境，「向小スタンダード」

（２）一人一人の個性を生かして活躍の場と安心感のある居場所を創る

→関連「重点目標」「自己肯定感」

（３）児童の状況を共通理解する場を積極的に設定し，変容や課題を共有する（学習・心情・健康面）

→関連「教育活動への積極的な参画を促す」

２（力量向上）　「学習指導の工夫と学力向上への取組」

（１）めあてをもって取り組ませ，学習の記録を見える形で積み重ねる。

→関連「自分づくり教育」（「変容・成長を実感」）「自己肯定感の向上」「ﾌｫﾛｰUﾃﾞｰ」

（２）校内研究・現職教育等を通して，思いを伝え合う授業を創る

→関連「新学習指導要領（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸ，外国語等への対応）「豊かな心」「あったか言葉」

（３）伝え合う機会を意図的に取り入れた授業

→関連「対話的で深い学び」「学び続ける教職員」「教えるプロ意識」

３（相互理解・連携）家庭・地域との連携，目標と課題の共有を意識した取組

（１）地域（PTA，ちょっとやろう会，ひまわりｽｸｰﾙとの連携による教育活動への積極的参加

→関連「地域（人材（＝人財）・施設）と連携した授業」「開かれた教育課程」の創造

（２）多様な情報発信（面談，懇談等含む）ができる雰囲気を創る

→関連「開かれた学校」「教員との顔の見える関係」「信頼関係の構築」「安心感の醸成」

（３）学校で行うこと，地域にお願いすること，家庭に協力を仰ぐことを見通した取組

→関連「働き方改革への取組」「チームとしての取組」「社会性の育成を促す取組（Noｽﾏﾎ等）」

（保護者・地域も含めた「チーム向陽台」 *One Team* を目指して！）

《学校評価アンケートから見える「保護者・地域・子供たちからのメッセージ」》

〇子供と教職員，教職員と地域・保護者とのかかわりが向上！

〇子供同士に「かかわり方を学ばせる」必要（問題を乗り越えさせる経験）

〇子供たちの自己肯定感，規範意識（マナー・安全）を高める取組が必要→家庭の協力が必須！

〇教育活動や方針・取組を伝える→「職員一人一人が学校の顔」という意識

〇学校・家庭・地域（三者協働）で，それぞれの立場で「私たちの学校」という意識の向上を！